

東日本大震災による 港湾の被害に関する 災害調査



沿岸海洋研究部 沿岸防災研究室

室長 根木 貴史 主任研究官 (工博) 熊谷 兼太郎 研究員 渡邊 祐二

港湾研究部 港湾施設研究室

室長 (工博) 長尾 毅 研究官 福永 勇介

港湾施工システム課 課長 菅野 甚活

(キーワード) 東日本大震災、災害調査、港湾の施設、海岸保全施設、津波痕跡、地震動、常時微動

1. 港湾における施設被害関連の現地調査

沿岸海洋研究部及び港湾研究部では、東日本大震災後、次のような現地被害調査を計12回にわたって実施して来た。

- 1) TEC-FORCEとして津波痕跡及び施設被害を調査/(独)港湾空港技術研究所と共同/3~4月
- 2) 海岸保全施設の被害状況を調査/5~9月
- 3) 港湾の施設の被害状況及び常時微動について調査・観測/6~11月

2. TEC-FORCEとしての活動

3月15日~3月30日にかけて、両研究部より延べ8名の職員を派遣し、津波痕跡及び港湾の施設被害の状況調査¹⁾を行った。

3. 海岸保全施設の被害状況調査

5月9日~9月1日にかけて、沿岸海洋研究部より述べ7名の職員を派遣し、海岸保全施設の被害

状況調査²⁾を行った。

4. 港湾の施設の被害状況調査及び常時微動観測

6月9日~11月2日にかけて、港湾研究部より延べ3名の職員を派遣し、港湾の施設の被害状況調査及び常時微動観測を行った。常時微動観測は、港湾の施設の被害状況と地盤条件・地震動の増幅特性との関係を検討するために行った。得られた結果をもとに相馬港の地震動の設定などを行った。

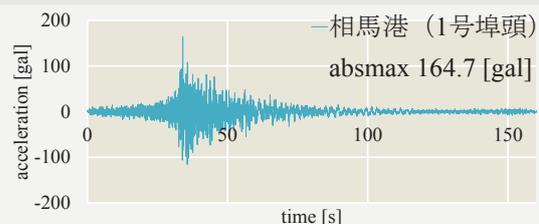


図 相馬港 (1号埠頭) のL1地震動 (工学的基盤)

【参考文献】

- 1) 2011年東日本大震災による港湾・海岸・空港の地震・津波被害に関する調査速報, 港湾空港技術研究所資料1231, 2011年4月, 高橋重雄ら
- 2) 2011年東北地方太平洋沖地震津波による海岸保全施設の被害調査, 国土技術政策総合研究所資料No. 658, 2011年12月, 熊谷兼太郎ら
- 3) その他個々の速報等

<http://www.y.sk.nilim.go.jp/oshirase/uc.html>



写真 現地調査状況 (基礎部の吸出し)